

# こらぼ大森イベント掲示板

ご来場頂きありがとうございました

## 第12回 こらぼ大森夏まつりの御礼

8月23日(日)に開催されました「第12回こらぼ大森夏まつり」では、大勢の方にご来場いただき、誠にありがとうございました。今年のテーマであった

### 手をつなぎ ささえ合う 地域の力

のおかげをもちまして、盛況のうちに祭りを執り行うことができましたことを心よりお礼申し上げます。どうぞ、今後ともこらぼ大森をよろしく願い申し上げます。

こらぼ大森夏まつり実行委員会



## ♪ 姿勢ウォーキング ♪

- 姿勢をかえてマイナス5歳! -

日程: 9/6(日)、10/4(日)  
 時間帯: 午前 10:30 ~ 11:50  
 対象: 大田区在住で50歳以上の女性  
 場所: こらぼ大森 4F 音楽室  
 定員: 先着 15名  
 費用: 1回 500円 (年会費: 2000円)  
 持物: 水分補給の飲み物、手ぬぐい、室内履き  
 内容:

- 無理なく鍛える  
室内エクササイズ・ウォーキング
- ・ストレッチ 20分程
- ・姿勢と歩き方、  
その他体操 50分程
- ・休憩 10分



※申込は必要ありません。当日、直接会場にお越しください。

主催: ポスチュアウォーキングおおた  
 電話 03-3776-2808  
 共催: NPO 法人大森コラボレーション

発行: こらぼ大森ニュース編集委員会

TEL/FAX: 03-5753-6560

E-mail: cbc10286@nifty.com

URL: <http://collabo-ohmori.com/>

住所: 大田区大森西 2-16-2 大田区民活動支援施設大森(こらぼ大森)

## 好評につき第1回! こらぼ大森健康講座

- 誰でも、いつからでも参加できますよ! -

日程: 9/17(木)  
 時間帯: 午後 2:00 ~ 3:30  
 対象: おおむね 60歳以上の方  
 場所: こらぼ大森 多目的室  
 費用: 無料  
 内容: ・健康体操 45分程  
 講師: 松本貢平さん  
 (リハビリデイサービス nagomi 大森店施設長)  
 ・休憩 10分  
 ・おはなしサロン  
 (お茶をのみながらオシャベリ★)



※申込は必要ありません。当日、直接会場にお越しください。

主催: NPO 法人大森コラボレーション  
 共催: さわやかサポート大森・平和島

## こらぼ大森でボランティア募集中!!

ただ今、ボランティアを募集しています。

- ・情報誌の袋詰めや会員さんへの手配り
- ・花壇のお花のお手入れ
- ・芝生の育成作業

その他ちょっとしたお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、こらぼ大森(情報交流室I)までご連絡下さい。左記の発行元と同じ連絡先です。

# こらぼ大森 第9号 ニュース

- 身近にある"ほっ"と出来る居場所づくり
- LET'S こらぼ 居場所でコラボレーション
- -戦後70年-「私の戦争体験」
- 認知症カフェハンドブック
- イベント掲示板「姿勢ウォーキング」「健康講座」



## 身近にある"ほっ"と出来る居場所づくり

最近、身近な所で「居場所」づくりの動きが少しずつ進められています。かつて、路地裏や空き地、放課後の校庭までもが子どもたちの居場所でした。大人から少し離れた所にある自分たちの居場所で、子どもたちは様々な経験を通じて心と体を成長させることができました。今、仕事や日常の忙しさに追われる大人にとっても、ちょっと一息つける居場所は、大切な場所ではないでしょうか。

こらぼ大森1階の「ふれあいコーナー」は、そんな「居場所」のひとつ。待ち合わせやちょっとした空き時間にも便利です。ぜひお立ち寄り下さい。



### 夏のある日 1階のふれあいコーナーから

残暑が残る8月の午前中、赤ちゃんを抱えた若いママさん達がワイワイ。今日は子ども交流センターの幼児プールの日なのでふれあいコーナーにも赤ちゃんやお母さんたちの声がにぎやかです。お昼を過ぎた頃、今度は体育館で軽い運動をしていた高齢者の皆さんがちょっと一休み。体を休めながら話がはずみます。

夏休み中なので昼間でも子ども達もチョコチョコ顔を出します。小学生も中学生もいます。4階にある音楽練習室でバンド練習する中高生が、楽器を担いで待ち合わせ。スマホで連絡する姿も見られます。

夕方、グラウンドや体育館で汗を流した皆さんが、一休みしながら話し合い。ふれあいコーナーには大型の自販機が3台あり、冷たい飲み物でホッと一息。

ふれあいコーナーは、子どもからお年寄りまで、どなたでも気軽にご利用いただけます。誰もが気持ちよく過ごせる場所にしていきたいと考えております。皆様のご利用とご協力をよろしくお願いします。



### 2階の喫茶「おた有機ニックファーム」

「この辺にはちょっとお茶できる場所がないのよね」と困った顔でお話される方が少なくありません。そんな「切実なニーズ」にも応えながら、こらぼの中でいろいろな繋がりづくりの切っ掛けをつくって下さるのが、こらぼ大森2階のオーガニックファームです。

店内は、優しい音楽が流れる中、ハーブティーやコーヒー等飲み物とスイーツで美味しい時間を過ごせます。曜日ごとに代わる店長さん達がそれぞれの得意分野を生かした空間づくりをしています。

【開店時間：月曜日から金曜日まで朝10時から午後4時まで】



.....

「居場所」は特別に設けられた「場所」とは限りません。お気に入りの講座やイベントでも「ここに来ると笑顔になれる」という場所は、その人にとっては立派な「居場所」。こらぼでは「健康講座」「健康チェック」や「折り紙教室・絵手紙教室」等ちょっと名前は居場所っぽくないですが、そこに集う皆さんの表情をみると「これってやっぱり『居場所』だね」って思います。

1992年に文部科学省が不登校の子ども達のサポートの場として「居場所」について提起しています。以来、子ども達だけではなく大人にとっても、少し落ち着いて過ごしたり友人や他者と繋がりをつくる空間や時間は益々意味を増してきているように思われます。

こらぼ大森に来られた皆さん、こらぼの中の「居場所」にもどうぞお立ち寄りください。

## - 戦後70年 -

# 「私の戦争体験」

大森西二丁目 白井 善吉さん

私は、昭和7年に現在地に生まれ、大森第二小学校（現在の開桜小学校）を卒業したのちに現在地の町会長（沢田東町会）になり町会の発展に努力し、8年間務めました。今年の3月で町会長の役をおりて現在は大森コラボレーションの副理事長をし、理事長を手助けしております。前段はこの辺で、本題にうつります。

大東亜戦争は昭和16年に始まり、19年の私が六年生だった頃の東京は空襲などで危ない状況で大部分の生徒が（一部の生徒は縁故疎開）集団で親元を離れ、富山県の氷見に、疎開しました。行った先はお寺で、最初は気味が悪かったものです。全員でとった写真が、右下の写真です。

毎日、勉強やスポーツをし、冬は雪が多いのでスキー等をして過ごしていました。戦時中のため、食料が不足しており毎日、空腹でした。又、親元を離れていたため、多少さびしく、母親が面会に来てくれた時はうれしかったものです。

疎開先の地方は、空襲は一度もなく警戒警報が数回あったくらいでした。ようやく年が明け

て卒業が間近に迫り、3月には東京へ戻ってまいりました。衛生面では、清潔にしていたつもりでしたが、シラミがわいて困りました。家の釜で衣服等を煮沸消毒しました。

大森第二小学校を卒業して東京の中学に入り、入学式を終えた数日後にB29の襲撃に合い、布団をかぶって春日橋方面へ逃げた記憶があります。付近一帯が火の海で家も学校も焼けてしまい、焼け野原で地獄を見るようでした。隣の家では牛を飼っていましたが、焼けて転がっていました。

その後、親の実家が福島の小名浜にあったので疎開し、小名浜の中学校に転校して昭和20年終戦をむかえました。8年間、小名浜にいて東京に戻って参りました。

今、切に思うことは、「二度と戦争は経験したくない」ということです。



こんな本 あんな本 「認知症カフェハンドブック」  
こらぼ大森2F情報交流室1の図書コーナーで貸出している本をご紹介します

高齢化に伴い2020年には認知症患者は325万人まで増加するとされ、その原因はアルツハイマー病が最も多い傾向だ。認知症は特別な人が患うものではなく、誰がなってもおかしくない、「誰もがかわること」なのだ。もしも、自分がまたは家族が認知症になったら、その負担は計り知れない。

この本では、認知症患者を持つ家族やその本人を支え、世間に認知症について正しい知識と理解を広めるために有効な手段となる「認知症カフェ」の開設指南書だ。認知症カフェについて知りたい・調べたいと思っている方は是非ご一読を！また、地域に居場所作りを考えている方にもお勧めの一冊。

